

クリーンウッド法の厳格化に対応 トラック荷台を南洋材からGywood®へ

2025年クリーンウッド法の改正により、熱帯材の輸入が厳しくなることが想定されます。これまでトラック荷台にはアピトンという南洋材が多く用いられてきましたが、今回、国産スギのGywood®をトラック荷台に使用しました。



素材 ObiRED® × Gywood® × AZN

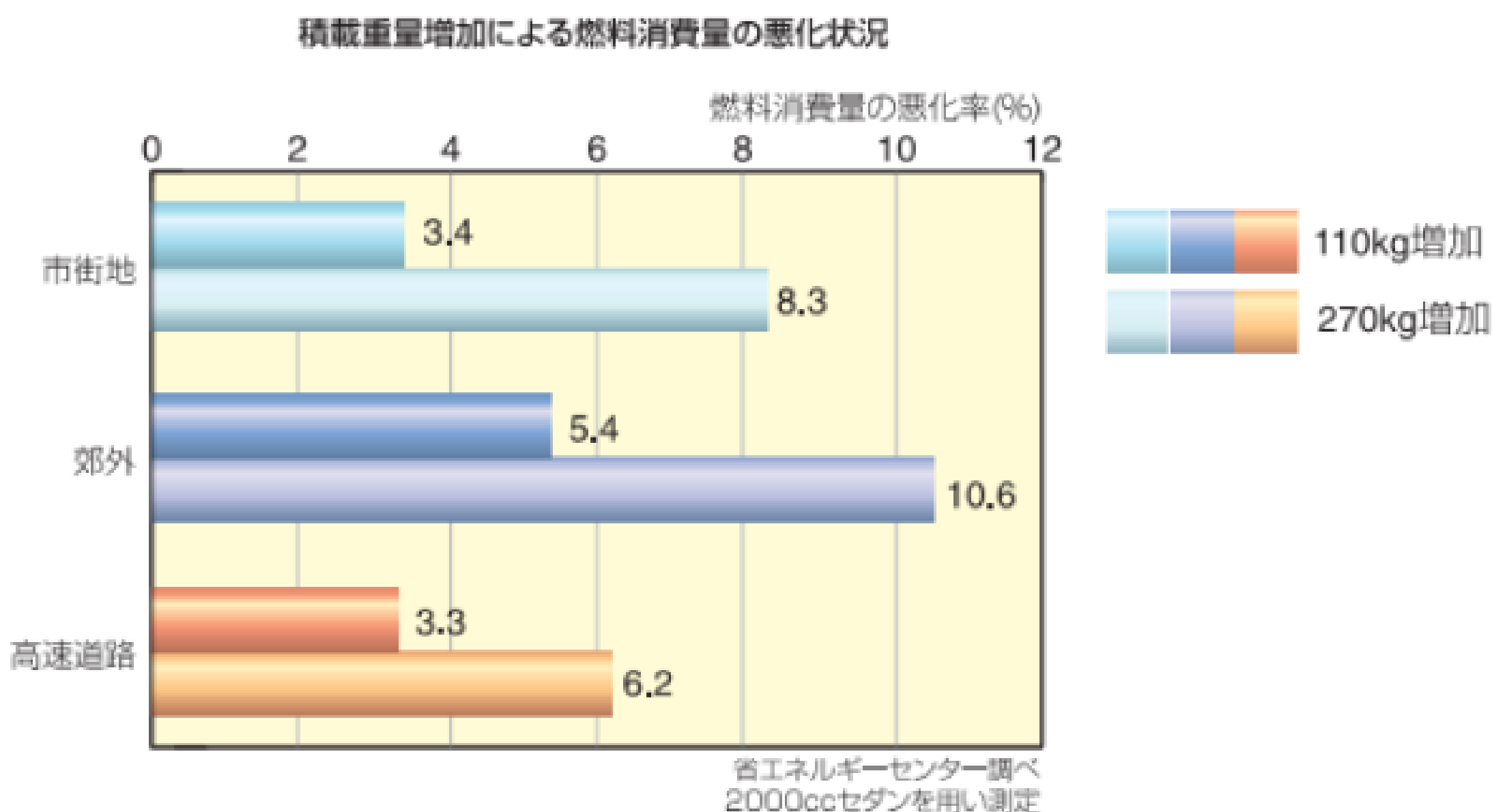
重量軽減によるコスト・CO2削減効果

南洋材からGywood®に素材を変更したことにより、従来よりも200kgの重量が軽減されました。それにより、ガソリンの使用量も軽減され、コスト削減及び環境保全の効果が見られます。

**200kg重量を軽減したセミトレーラーで1日600km走行した場合
ガソリン15L削減→ガソリン代2,250円、CO2排出量35kg分削減**

< 算出根拠 >

(下記条件の想定をもとに算出)
 セミトレーラーの燃費3km/L
 200kg重量軽減による燃費改善率7.85% 軽油代 150円/L



< 仮定 >
 セミトレーラーの燃費は車種によって異なるが、トラックメーカー各社ともセミトレーラーの燃費はリッターあたり3キロ程度

■ 郊外走行で200kg軽くなるとセミトレーラーの燃費
 $10.6\% \div 270 \times 200 = 7.85\%$ 燃費改善
 セミトレーラー 3.0km/L → 3.23km/Lへ
 ■ 1日600km走行した場合200L → 185L ガソリン15L減
 (ガソリンL → kg-CO2 × 2.32) 約35kg-CO2削減
 軽油代 150円/L 2250円削減